

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年4月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4679100166
法人名	有限会社 ソフィア・インターナショナル
事業所名	グループホーム 港ヶ丘
所在地	鹿児島県大島郡徳之島町亀徳2239番地 (電話) 0997-81-1215
自己評価作成日	平成25年2月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念にもあるように、入居者一人一人のあるがままを受け止め(個性尊重)決して無理強いすることなく、過ごして頂いている。

職員も日々学び創意工夫しながら、入居者に接している。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年3月12日

・ホームは高台に位置し、眼前に太平洋が広がり、日の出を見ることができ、利用者は朝夕の入り船や出船を楽しみにしている。近隣には、観光名所や散歩コースがあり、市街地に近く利便性の良い生活環境にある。

・事業所は、家族や地域住民が気軽に訪問し、野菜の差し入れや地域行事に利用者と一緒に参加する等、地域住民との交流が定着している。

・利用者が家庭的な雰囲気のなかで、楽しいと思える時間を多く持てるように、職員全員で常に話し合いを持ち、サービスの質向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	入居者のあるがままを受け止め日々学びながら実践につなげられるように意識しています。	理念を全職員で共有し、利用者一人ひとりの違いや個性を尊重したケアが提供できるように、職員で常に話し合いながら、実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	地域の商店街へともに出掛けたり入居者の地元へドライブに行ったりして地域との交流を深めている。	日頃より、家族や近隣住民がホームを気軽に訪問し、野菜の差入れなどが多い。地域行事の水かけ祭や運動会・上棟式の餅拾いなどにも、利用者と一緒に参加し、地域のサロンにも行き、地域住民との交流を楽しんでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	来訪して下さった方へパンフレット等で話をさせて頂いたり、ご家族の質問にお答えする以外なかなか認知症の方を理解していただく発信の場や機会はないが職員は島内での研修や講習に積極的に参加している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、入居者の現状、行事、施設の取り組みを報告し、意見を伺っている。	定期的に2ヶ月に1回、運営推進会議を設けて委員と活発に意見交換を行っている。事業所の取り組み状況や運営上の事を報告し、意見交換を行っている。会議で出た意見については、事業所で検討し、運営に反映するように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議や電話、役場窓口で意見を伺ったりしている。	会議や役場窓口での対応以外にも、日頃から電話で相談したり、必要な研修などの情報をもろう等、連携が取れている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をしないケアについてミーティング等で知識理解を深めています。夜間帯のみ、外部からの侵入防止のため施錠いたします。ベッド柵等身体拘束は一切行っていない。	ミーティングで身体拘束廃止の研修を行っている。日中は玄関の施錠はせずに、職員間の見守りで、外出希望の利用者には、落ち着くまで一緒に散歩したり、気分転換を図ったりしている。言葉や態度でも拘束にならないように努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	島内での研修の機会が少なく、本や資料を活用しながらミーティングの際に話し合ったり知識を深めたり意見交換をして虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修などに積極的に参加し知識の習得に励んでいるが活用できる場や機会があまりない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約前に見学し安心して入所して頂けるように対応している。・。退所・解約時も他の施設への紹介等行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族との交流会や面会時に近況報告をしながら、利用者とは日々の会話の中で、要望を聞き職員会議で話し合っている。</p>	<p>利用者の思いや要望は、普段の会話や様子から把握し、家族の意見は面会時にできるだけ聞くように努めている。出された要望や意見については職員間で共有し検討を行い、ケアに反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に1回職員会議を開き、業務や運営に関する意見交換を行っている。</p>	<p>職員会議以外でも、個別に意見や要望を聞いたり、朝の引継ぎの際などに面談の時間を持つなど、職員とのコミュニケーションに努めている。適切な意見や提案については、全体で協議して運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>本人の頑張り次第で（資格取得）時給UPしやる気を引き出している。スムーズに業務を行い定時で帰れるように職員同士連携を取り職場の環境・雰囲気作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>島内での研修会等には出来るだけ参加し職員各自がスキルアップ出来るように進めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>島内のグループホームの交流会したり、講師を招いて事例検討会を定期的に行いながら情報交換をし質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者や家族の方にもホームの事を知って頂く為に、入所前にホーム見学をして頂き、安心して入所できるように支援している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の要望に応えられるよう利用開始の段階で十分話を聞き、電話や面会の際にも現状報告を行いながら新たな要望を聞きだしたり関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用開始前に十分話し合いを持ち必要としている支援ができるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で、本人のできる事はしてもらいお互いの立場を共有し合いながら関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	自由に面会をして頂き、精神面での支援をして頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの場所、生活していた場所へのドライブ、墓参り等、要望に応えられるように努めている。	毎月の墓参りを楽しみにドライブしたり、買い物や用事に出る際に、利用者が住んでいた自宅や馴染みの場所に立ち寄ったりしている。昔話を良く聞いたりしながら、馴染みの関係が途切れないような支援を心がけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	会話やレクレーションの中から個々の個性がうまく引き出せるように、支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設への入所、入院された方への面会やご家族の方に会った際に様子を聞いたりして関係を断ち切らないようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話の中や、表情や仕草から本人の思いを感じ取りどうしてほしいのか把握に努めている。	日常の会話の中で思いや要望を聞き、できるだけ実現できるように応えている。意思表示ができない利用者には、職員間で様子観察の話し合いや意見交換を行い、家族からも情報収集をして利用者の思いに沿うよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に、家族や以前のサービス提供先から情報収集を行い、本人に必要なサービスが提供できているか経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	共同生活の中で、本人の生活スタイルをなるべく維持し、本人らしさを十分発揮できるように現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族、看護師と話し合いを持ち、現状報告しながら意見や、アイデアを出してもらい本人の意向に沿った介護計画を作成するようにしている。	担当者会議に家族も参加してもらったり、電話で話し合っって介護計画を作成している。モニタリングは、更新や必要時に定期的実施している。職員も担当制により、利用者の情報収集や評価に参加している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日介護日誌や、個別記録に記入することにより、職員同士が情報を共有し日々の実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	毎日の決められたスケジュール以外にも本人、家族の希望があれば外出、外泊の許可、ドライブや買い物等に連れ出したり、なるべくその時の要望に応えられるように支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域サロン、デイケアのレクレーションへの参加等により本人の心身の力を発揮しながら楽しめるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族、事業所と、かかりつけ病院との連携は十分取れており、月1回の訪問診療、状態により随時の訪問診療・訪問看護で適切な医療を受けられるよう支援している。	かかりつけ医の定期的な訪問診療により、必要な医療が継続できるように支援している。また、必要時は、随時訪問看護や関係医療機関と連携を図っている。眼科や歯科等の受診も支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>本人の状態の変化を随時、訪問看護師に電話で相談し、適切な受診や看護が受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院した場合には病院のソーシャルワーカーと常に連絡を取り合い相談や情報交換、又退院に向けて話し合いをしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方については入所時の説明で行っており、本人家族も納得している。その際にはグループ内の他施設に入居し看護してもらえるような体制をとっている。</p>	<p>家族には、入所時に重度化や終末期についての方針を説明して同意を得ている。重度化した場合や終末期には、関係医療機関や他施設との連携を十分に図り、本人や家族が納得できるようにとの思いで支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>毎年1回消防士に来てもらい救命訓練・AEDの使い方等を学び、急変や事故発生時に備えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>毎年1回地震・火事を想定した避難訓練を全職員と近隣住民の方々にも呼びかけて行い地域との協力体制を築いている。</p>	<p>春にAED訓練、秋に3町合同訓練（地震・火災）を実施している。夏には避難口を1箇所増設し、台風襲来時期には水や食料の確保にも努めている。次年度は夜間想定訓練も計画しており、災害に対する危機意識を高めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格の尊重とプライバシーの確保に全職員が意識を持って言葉かけや対応をしている。	それぞれの個性や本人の持つこだわりを尊重し、言葉かけや態度に留意している。排泄誘導もプライバシーに配慮して支援している。気になる対応をした場合は、職員間で注意し合って適切な対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の会話の中で思いや希望をさりげなく聞きだしたり、したい事の自己決定ができるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおよその、一日の流れはあるものの、その日の本人の体調や要望に沿って過ごし方を支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的（2か月毎）に地域の美容師が来訪し全員散髪をしてもらっている。外出の際にはよそ行きの服でおしゃれを楽しんでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理の準備、配膳、後片付け等、声かけして手伝ってもらったり、旬の食材を使い、行事料理や季節感を味わってもらえるよう工夫している。	季節毎に行事食を作ったり、弁当持参で近くの名所に出かけたりしている。また、ホームの庭でカレーライスランチをしたりして、食事が楽しめるように工夫している。利用者も職員と一緒に食事の準備等をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスに気をつけ一人ひとりの状態に合わせ量や食べやすさを工夫し、食事摂取量、水分摂取量の記録も行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声掛けし歯磨き誘導を行い本人の状態に応じた介助や口腔ケアをしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、時間や表情、動きを見ながら日中は全員トイレ誘導を行い、自立に向けた支援を行っている。	日中はトイレでの排泄がほとんどで、夜間のみ転倒予防のためポータブルトイレを使用している。個々に応じた細やかな排泄誘導と見守りでトイレで排泄できるように、排泄の自立支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、午前と午後のリハビリ体操、野菜中心の食事メニューと水分摂取量のチェックで便秘予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	月、水、金の週3回と入浴日は設定してあるが、それ以外の日にも個々の状態や要望に応じて支援している。	ホームでは、入浴日以外でも、個別の要望や状態に応じて対応している。入浴を拒む利用者には、声かけや誘導の工夫して、入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日々の状況や体調に応じて、休息や安心した眠りにつけるように、支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書は必ずファイルに綴じ、全職員が目を通し、薬の目的、副作用、用法や用量を理解し、服薬の際の確認、症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの趣味や力を活かし調理や洗濯、園芸等、職員と一緒にしたり、レクリエーションやドライブ、買い物、庭でのお茶会、近くの岬への遠足、季節行事などで気分転換の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>気分転換にドライブ、散歩等に出かけられるように支援している。家族も、外出の支援に協力的である。</p>	<p>日常的に天気のよい日は、近隣の散歩をしたり、皆でピクニックや薬草摘みに出かけたりしている。職員が買い物や用事で外出する際に、一緒に外出し、希望があればドライブや墓参りなどの外出支援をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭は事務所で管理し、必要な時に応じて、職員と買い物に行ったり、美容院に行ったりしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族や友人と電話のやり取り、手紙の代読などの支援をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間は、不快や混乱を招かないよう、家具の定位置に配慮したり島唄などのBGMを流したり花を活けてもらったりしている。</p>	<p>共用のリビングは、温度調整に配慮しながら、季節の花を活けたり、入居者と一緒に作った壁かけや塗り絵などを飾り、季節を感じられる。また、廊下にはソファを置き、利用者同士で日光浴やお喋りができるように配慮し居心地よく過ごせるように工夫されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングにソファを置いたり、廊下にベンチを置いて、気の合った者同士が思い思いに語り合ったり、休息をとったりできるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具や寝具などを持ち込んでもらい、本人と相談しながら配置を決めたり、写真を飾ったり自由に過ごしてもらっている。</p>	<p>それぞれが好きな家具や愛着のある物を持参し、写真や絵を飾ったりして、居心地よく過ごせるように工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している</p>	<p>家事や炊事、レクリエーション、余暇活動が安全に送れるように、家具の配置等に気を付け、自立した生活を送れるように工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない